

第63回有瀬図書館ギャラリー展

展示会通信第64号

神戸学院大学有瀬図書館
2022年12月15日発行

Meridian



第63回 有瀬図書館ギャラリー展

紫式部の
世界

開催期間：2022年12月7日(水)～2023年3月31日(金)

開催場所：神戸学院大学有瀬図書館
本館2階 エントランス展示コーナー

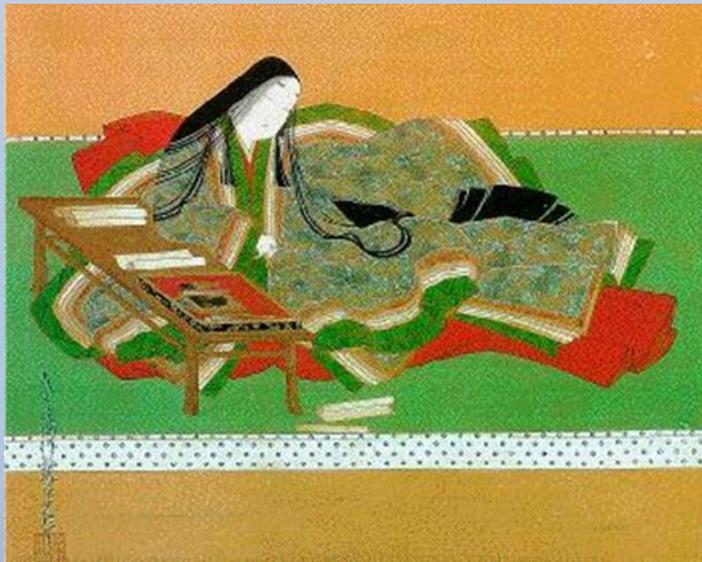
* 開催時間や開催期間は変更になることがあります。図書館HP・掲示にて、ご確認のうえご来館ください。

【紫式部】

[973年頃～1014年頃]平安中期の女流作家。生没年未詳。紫式部というのは通称の為、本名は伝えられていません。

前守藤原為時の娘。藤原兼輔(かねすけ)、政正(まさただ)、為時と続いた歌人・学者の家に生まれ、幼くして母に死別。長じて藤原宣孝(のぶたか)と結婚して一女(=後ノ大式三位(ダイニノサンミ))をもうけたが、間もなく夫とも死別。その後「源氏物語」を書き始め、文才を認められて、道長の娘彰子(しょうし)(一条天皇/中宮)に仕えたとのこと。

『源氏物語』のほか、『紫式部日記』、家集『紫式部集』があり、平安朝随一の才女として、その後の文学に多大な影響を与えたと言われています。



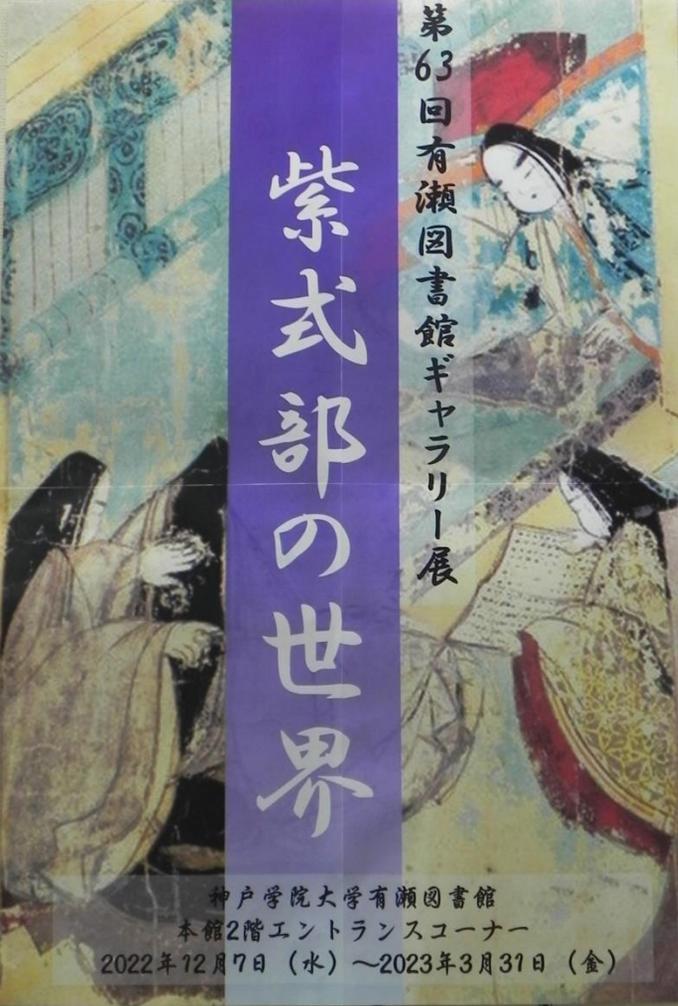
紫式部と言われて有名な絵



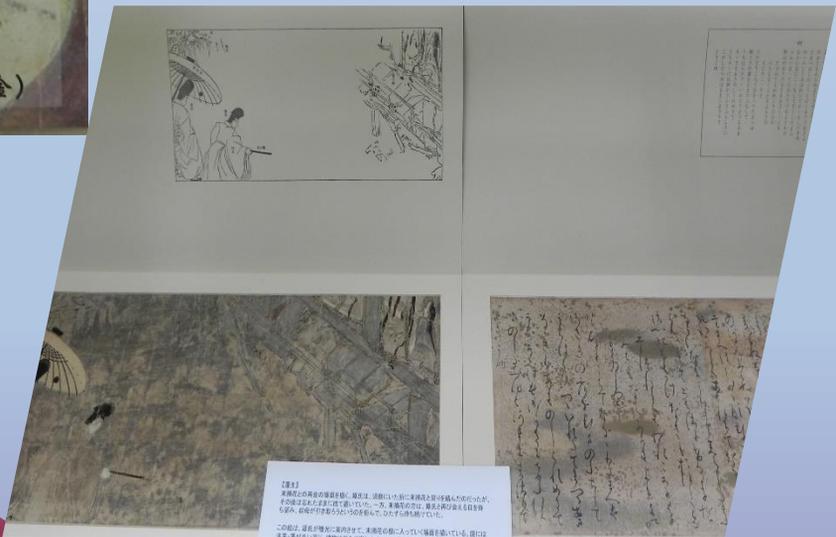
中宮 藤原彰子



藤原道長



源氏物語



展示の様子



編集後記

第63回有瀬図書館ギャラリー展では、「紫式部の世界」と題して、「源氏物語」・「紫式部日記」を展示しております。

日本文学の最高傑作とも称される「源氏物語」と、「紫式部日記」は中宮彰子（しょうし）の女房として仕えた作者が、生活などを客観的に描きながら、華やかさになじみきれない自己の苦悩をものぞかせ、作者の人間性を知る貴重な資料であるといわれています。ぜひ、この機会に平安文学をお楽しみください。

参考文献

<参考文献>

日本大百科全書(ニッポニカ)

源氏物語・長谷川法世著・上 中央公論新社 2020

源氏物語を読む・高木和子著 岩波書店 2021

源氏物語解剖図鑑 佐藤晃子文 伊藤ハムスターライト 2021

紫式部日記を読み解く 池田節子著 臨川書店 2017

神戸学院大学図書館 展示会通信 MERIDIAN

第64号 2022年12月15日発行

発行・編集：神戸学院大学 有瀬図書館

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518

TEL：078(974)4584 E-mail: pub-lib@j.kobegakuin.ac.jp

ホームページURL: <http://opac.kobegakuin.ac.jp/>